



# 日本多発性硬化症協会

(略称日本MS協会)

## 世界MSデー（世界多発性硬化症の日）に関するお知らせ

日本多発性硬化症協会（以下日本MS協会と略す）は昭和52年に任意団体として設立以来、皆様のご理解とご支援に支えられ、国内では医学者への支援と患者さんへの援助、国際的にはMS国際連合(MSIF)の加盟団体として医学情報の交換や国際交流を進めてまいりました。当協会の活動資金はすべて善意の方々からのご寄附で賄っております。

MSは欧米で多く見られる典型的な神経疾患であり、この病気の特徴としては、女性の患者さんが男性の患者さんより多く、特に若い女性で就職・結婚・出産などの大きな環境の変化が起こるときに発症しやすいと考えられております。しかし、この病気の完治治療は未だに分かっておりません。当協会の目指すところは、MSの撲滅にあります。その為の手段としてMS患者さんを支援することと調査研究への助成を中心に活動しております。

「世界MSデー（世界多発性硬化症の日）」は、MS世界連合と世界各国のMS協会により、2009年に制定され、本年で4年目になります。日本でも「世界MSデー」を、MS世界連合に合わせ毎年5月の最終水曜日とし、本年は5月30日がその「世界MSデー」になります。

「世界MSデー」は、MS世界連合が世界的な問題としてMSの認知度を向上させることを目的としております。世界の多くの国々が参加を表明しており、趣旨に賛同する個人、団体、組織によって世界規模でさまざまな活動が行われます。日本でもMSをご存知ない方々が非常に多いのが現状で、多くの方々を知ってもらいたいことを願い、本年は下記日程で下記イベントを開催予定しております。

- 期日： 2012年5月26日（土曜日）
- 時間： 午前11時ごろより午後2時ごろまで
- 場所： 墨田公園近辺（東京スカイツリーの近く）
- 内容： 世界MSデーチラシとボールペン配布

MSについて正しい情報をこれまで以上に一般の皆様幅広く継続的に提供していくことは、当協会の非常に重要な任務であると考えています。当協会はMSの診断に関連する多くの先生方にもご協力を頂いております。「世界MSデー」を通じて一般の皆様のMSに対するより一層のご理解を得て、患者さんの皆様の日常生活の改善と1日も早い完治療法の発見を期待するものです。